| 授業科目名・形態 | ソーシャルワーク実習指導Ⅱ　演習 | 必修・選択の別 | 選択 | 単位数 | 1 |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目担当者氏名 | 石岡和志　藤田博章　平林朋子　松本和剛 | 実務経験の有無 | 有 | 開講期 | ３年前期 |
| 科目ナンバリング | W6-3009s | | | | |

**【授業の主題】**

ソーシャルワーク実習指導Ⅰに続き、ソーシャルワーク実習に係る知識と技術について具体的かつ実際的に理解し実践的な技術等を体得する。社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得し、具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を目指していく。

**【到達目標】**

1）実習先で必要とされる相談援助に係る知識と技術について理解する。
2）実習計画書の意義、実習記録ノートの意義、書き方、取扱い等について理解する。
3）専門職としての倫理・守秘義務等を理解する。

**【授業計画・内容】**

第 1 回　オリエンテーション、実習ファイル作成、実習要領の説明
第 2 回　実習記録ノートの理解（実習記録ノートの意義、書き方、取扱い等に関する理解）
第 3 回　実習先で必要とされる相談援助に係る知識と技術①（用いているツールの理解）
第 4 回　実習先で必要とされる相談援助に係る知識と技術②（相談援助の実際、社会福祉士の業務の理解）
第 5 回　実習先で必要とされる書類の作成（個人票、誓約書作成）
第 6 回　実習先の理解（施設の概要作成①）
第 7 回　実習先の理解（施設の概要作成②）
第 8 回　実習計画書作成①（実習での課題を明確化）
第 9 回　実習計画書作成②（目標・計画の確認）
第 10 回　事前訪問の理解①（事前訪問の目的、方法、内容等）
第 11 回　事前訪問の理解②（事前訪問報告書の提出、結果・成果の確認）
第 12 回　倫理・守秘義務等の理解（プライバシー保護と守秘義務、倫理綱領、義務規程）
第 13 回　巡回指導の理解（巡回指導の目的と内容、スーパービジョンの理解）
第 14 回　実習の評価の理解（評価の意味、評価表の書き方や活用方法の理解）
第 15 回　ソーシャルワーク実習に向けて最終確認（実習中の注意事項、事故・緊急時の対応）

**【授業実施方法】**

講義および演習

**【事前・事後学習】**

・テキストを中心に 30 分の予習及び演習内容を踏まえた 30 分の復習を行うこと。
・ソーシャルワーク実習の意義と実習先の指導者の職務内容を理解し、授業に臨むこと。

**【主な関連する科目】**

ソーシャルワーク実習、ソーシャルワーク演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

**【教科書等】**

最新 社会福祉士養成講座８　ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習（社会専門）　中央法規出版

**【参考文献】**

必要に応じて紹介する。

**【成績評価方法】**

授業態度等 10%、レポート等 30%、実習計画書等 60%で総合的に評価する。60%以上の得点で合格とする。

**【実務経験及び実務を活かした授業内容】**

社会福祉施設で生活相談員として相談業務を経験し、ソーシャルワーク実習指導にも携わってきた。ソーシャルワーク実習に係る情報収集、計画書作成等、実践的な内容を伝えていきたい。

**【学生へのメッセージ】**

これまでの学習・生活経験を活かし、ソーシャルワーク実習を効果的進められるよう、主体的かつ総合的に取り組むこと。実習の前段階なので自己管理をしっかりと行い、遅刻や欠席をしないよう十分に注意すること。